

モーモー司書の部屋

今から約100年前、1920年頃の豊島区に42ヶ所の牧場があったことはご存じですか？その中でも西巣鴨町には26ヶ所の牧場があり、「牛屋横丁」と呼ばれていました。

牧場にちなんで、今回は「クラフトミルク」について取り上げます。

普段飲んでいる牛乳は「混合乳」と呼ばれ、複数の牧場の生乳をブレンドし、味が均一になるよう加工されています。

「クラフトミルク」は1軒の牧場のみから供給され、大量生産が困難で生産量が限られます。そのため1本の牛乳の価格が2倍以上になることもあります。その分牧場ごとに味わいが異なり、風土や気候、牛の品種や飼育方法、飼料による味の違いを楽しむことができます。

「クラフトミルク」はアンテナショップや百貨店で販売していることがあります。興味がある方は是非試してみてください。

筆者のオススメは、東京都八丈町のジャージー牛乳です。



クラフトミルク飲み比べ

濃厚で後味にコクがあり、同じ東京都にある牧場の牛乳だと思えば、味わい深いです。直営カフェで食べるソフトクリームもさっぱりとして美味しいです。

(N)

巣鴨・大塚界限

その3 区民ひろば朝日



第3回目は、旧朝日中隣にある区民ひろば朝日を紹介します。

区民ひろばは、乳幼児から高齢者まで気楽に集まり交流できる場所です。ここでは地域の情報を知ったり、さまざまなイベントやワークショップに参加できます。区内には26施設あります。

区民ひろば朝日は、地下鉄都営三田線西巣鴨駅近くに位置し、都電荒川線「新庚申塚駅」からも利用できます。旧朝日中の隣にあります。3階建てで日当たりもよく、使いやすい施設です。令和6年12月17日に現在の場所に移転して新しくなりました。

館内は、エレベーター（15人乗り）を設置し、バリアフリーに配慮しています。2階の部屋は赤ちゃん、就学前、小学生以上の部屋に分かれ、年齢にあった過ごし方ができます。

また毎月様々なプログラムを開催していて、乳幼児と保護者向けには、「ベビーイングリッシュ」「なかよしタイム」「おやこピラティス」など楽しいプログラムがいっぱいです。

大人向けには、「みんなのフラダンス」「みんなのモルック」などのプログラムも充実していてどなたでも参加できます。どうぞお立ち寄りください。

住所 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-10-12

電話番号 03-5974-0566

開館時間 9時～17時

◎本の紹介

- 『ミルクの本』ミルクマイスター高砂/著、自由国民社
- 『東京ミルクものがたり - 東京酪農乳業史跡を巡るガイドブック -』前田裕史/編著、矢澤好幸/編著、農村漁村文化協会
- 『ミルク色の残像-東京の牧場展-(特別展図録)』東京都豊島区立郷土資料館/編、豊島区教育委員会
- 『牛乳の疑問75』日本酪農科学会/編、成山堂書店

《編集後記》

記録更新続きの暑い夏でしたが、元気に9月を迎えていらっしゃいますか？図書館の夏は、お子さん向けのイベントが多かったのですが、秋は、11月に開催予定のデフリンピックをより深く知るためのイベント、落語家さんをお招きしての「消費者トラブル防止啓発落語」等大人向けの企画を予定しています。楽しみにしていてください。(Ma)

すがもらいぶらり

2025年9月1日発行(年6回2・3・5・7・9・11月の1日発行)

9月になりました。暑い日が続くので、まだ秋の気配は感じられません。巣鴨図書館は区の涼みどころにも指定されていますので、暑い日にも是非巣鴨図書館にご来館ください。

さて、巣鴨図書館でこの秋に行われる2つのイベントについてご紹介します。東京2025デフリンピックは日本で初めて開催されるデフリンピックです。巣鴨図書館のイベントにご参加いただければ、きっと秋に行われる大会を、より楽しむことができると思います。出前寄席は、消費者トラブルについてわかりやすく寄席でお伝えします。寄席は巣鴨図書館では初めての試みです。

いずれも、事前申し込み制となっています。興味のある方は、是非ご参加ください。(館長)



巣鴨図書館のイベント紹介

知っていますか？デフリンピック

9月27日(土) 13時30分～14時30分

11月に開催される第25回夏季デフリンピックを知るための映画上映会と講演会。小学生以下は要保護者同伴。

出前寄席「騙しの手口はもうええわ！」

9月30日(火) 10時30分～11時15分

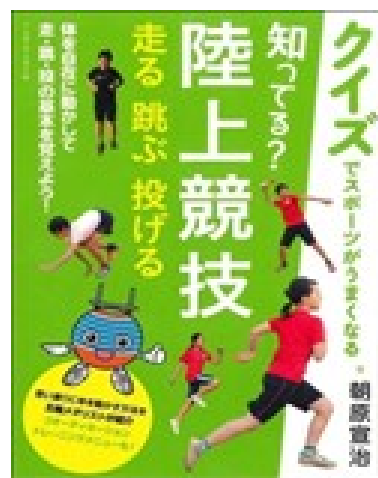
真打柳家花いちによる消費者トラブル防止啓発の落語。18歳以上の方対象。

※申し込み方法等の詳細は、HPもしくは館内のポスター、チラシでご確認ください。

図書館で知る 【世界陸上】

こちらのコーナーでは、毎号テーマに沿った気になる本・おすすめの本をご紹介します。

第3回目のテーマは、9月13日（土）～21日（日）開催、東京2025世界陸上競技選手権大会（東京2025世界陸上）にちなんで「陸上」です。



〈東京での世界陸上開催が決定！〉

日本での開催は 2007 年の大阪大会以来 18 年ぶり、東京では1991年以来、34年ぶりに開催されます。

1991年の世界陸上では、山下佐知子選手が女子マラソンで銀メダルを獲得・日本人初の表彰台に輝き、男子マラソンでは、谷口浩美選手が日本人初となる金メダルを獲得しました。

また、この大会では3つの種目で世界新記録が生まれています。

今大会のキャッチコピーは

『1秒後、世界が変わる。』

コンマ1秒という一瞬の差がメダル獲得の有無、順位、世界記録更新にかかわる、陸上競技ならではの目が離せない緊張感が伝わってきます。

走る、跳ぶ、といった単純な動作を極めた陸上競技。

瞬間的な勝負の一幕を見届けてみませんか？



ぶちコラム

世界陸上といえば長年アンバサダーを務めていた俳優の織田裕二さんを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

今回も就任が決定しており、2大会ぶりに世界陸上に携わります。なんと1997年のアテネ大会から2022年のオレゴン大会まで、13大会連続で世界陸上のメインキャスターを務めています。

陸上の経験はないものの、だからこそその視点で陸上競技の魅力伝えてくれる様子にも注目です。

世界陸上ってどんな大会？

今大会では世界のトップアスリート約2,000名が集い、それぞれの種目の世界一をかけて戦います。種目数は全部で49種目です。

また、こうした最新の情報は公式ホームページを閲覧するのが手早いですが、一歩引いて「陸上」という視点で大会をみるのも楽しいのではないのでしょうか。

過去の大会記録から、元選手の目線から、科学的な一面から、お子さんと一緒に……。陸上という競技を多角的に見ることができそうな本を集めてみました。

気になる本がありましたら、是非手に取ってみてください。(S)

おすすめの本

『日本一わかりやすい陸上の教科書—技術書にも観戦BOOKにも使える—』

成美堂出版編集部／編集 成美堂出版

『史料と写真で見る陸上競技の歴史—ルーツから現在・未来へ—』

岡尾恵市／著 陸上競技歴史研究会／著 大修館書店

『準備せよ。—スポーツ中継のフィロソフィー—』

田中晃／[述] WOWOWスポーツ塾／編 文藝春秋

アダム・スキナー／文 マーク・ロング／絵

『金メダリストのシューズ』

大野益弘／著 ポプラ社

『金メダリストは知っていた！—スポーツ科学が明かす陸上競技の新常識—』

水城昭彦／著 小林寛道／慣習 技術評論社

『知ってる？ 陸上競技』

朝原宣治／著 ベースボールマガジン社

古代のスタート法から
陸上競技の未来まで



速く走るのに必要な筋肉は
からだのどこにある？

書影引用：「BOOKデータASPサービス」より